

▶ 千代田区では、地方都市との協定に基づき、区が地方都市の森林整備事業（間伐等）に協力し、森林整備によるCO₂吸収量を、区から排出されるCO₂の一部と相殺（カーボン・オフセット）する取り組みを行っている。令和元年度においては、以下の取組により、新たに16.95haの間伐、0.07haの造林が実施され、森林の有する公益的機能の発揮につながった。

- 岐阜県高山市と連携し、8.95haの間伐を行った。群馬県嬭恋村と連携し、8.0haの間伐及び0.07haの造林を行った。
- 令和2年度においても、高山市及び嬭恋村と連携して森林整備事業の推進と地球温暖化対策の両立を図る。

□ 事業内容

1 地方との連携による森林整備事業

- 地方都市との協定に基づき、区が地方都市の森林整備事業（間伐等）に協力し、森林整備によるCO₂吸収量を、区から排出されるCO₂の一部と相殺（カーボン・オフセット）する。（区は整備事業費用の1/2を協定により負担する。）

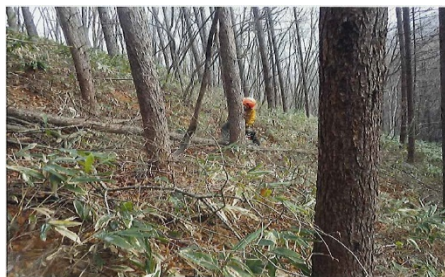
【連携先】岐阜県高山市（協定締結：平成24年6月26日）

群馬県嬭恋村（協定締結：平成28年12月21日）

【事業費】951千円（全額譲与税）

【実績】間伐16.95ha（高山市：8.95ha 嬭恋村：8.0ha）

造林0.07ha（嬭恋村）

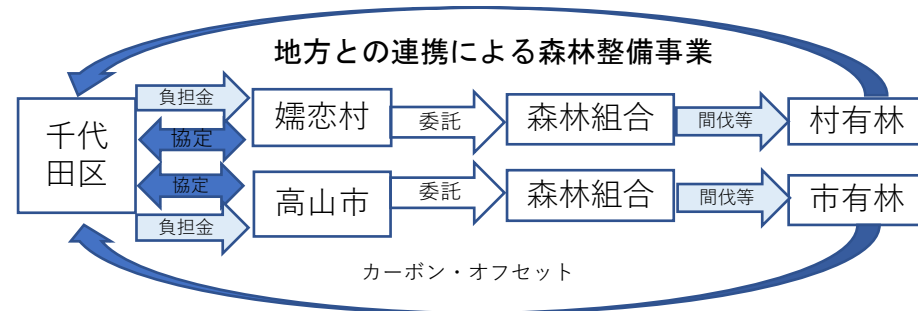


(1) 間伐の様子（嬭恋村）



(2) 整備対象林の表示板（高山市）

□ 事業スキーム カーボン・オフセット



□ 工夫・留意した点

- 連携先の自治体と前年度末から年度当初にかけて協議を行い、整備対象林の状況等を踏まえて整備規模等を決定した。

◇ 基礎データ

①令和元年度譲与額	6,918千円
②私有林人工林面積（※1）	0ha
③林野率（※2）	0.0%
④人口（※3）	58,406人
⑤林業就業者数（※4）	94人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※2：「2015農林業センサス」 ※3、4：「H27年国勢調査」

- ▶ 新宿区では、長野県伊那市、群馬県沼田市、東京都あきる野市に開設した3つの「新宿の森」で森林整備を行い、温室効果ガスである二酸化炭素（CO₂）の吸収を促進させ、区が排出するCO₂と相殺するカーボン・オフセット事業に取り組む方針。
- ▶ 令和元年度においては、以下の取組により、346.85t-CO₂のカーボン・オフセットを実施した。
 - 各市と連携し、「新宿の森」のうち約40haの森林整備を行った。
 - 「新宿の森」が所在する各都県へCO₂吸収量の認証を申請し、346.85t-CO₂の認証を受けた。

事業内容

自治体間連携によるカーボン・オフセット事業

友好提携を結んでいる長野県伊那市をはじめとする3市と連携し森林を整備することで、区が排出するCO₂と相殺するカーボン・オフセット事業に取り組んだ。

【事業費】21,388千円（うち譲与税12,803千円）

【実績】長野県伊那市

- 間伐 26.18ha、路網整備 404m
- CO₂吸収量 244.2t-CO₂（複数年認証分を含む）

群馬県沼田市

- 下草刈り 12.03ha
- CO₂吸収量 82.6t-CO₂

東京都あきる野市

- 除伐 1.1ha、根払い及びシカ害防止ネット巻き 0.16ha
- CO₂吸収量 20.05t-CO₂

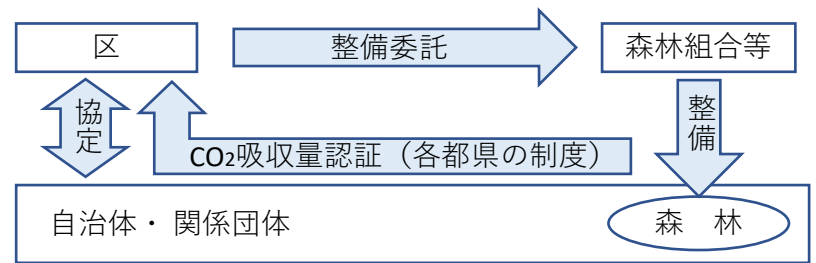


（間伐作業＜長野県伊那市＞）



（間伐材搬出＜長野県伊那市＞）

事業スキーム



工夫・留意した点

- 計画的な事業実施のために、相手先自治体・関係団体と緊密に連携していく必要がある。令和元年度は群馬県沼田市と協議の上、令和7年3月末までの新たな協定を締結した。
- 森林整備に関する技術的専門性を確保するため、職員による管理・監督に加え、専門業者への監督補助業務委託も活用し、適正な事業実施に努めた。

基礎データ

①令和元年度譲与額	13,493千円
②私有林人工林面積（※1）	0ha
③林野率（※2）	0.0%
④人口（※3）	333,560人
⑤林業就業者数（※4）	18人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※2：「2015農林業センサス」 ※3, 4：「H27年国勢調査」

- ▶ 本区では、当年度予算における新規・拡充事業の中の木材利用や森林の普及啓発事業に森林環境譲与税を充当することとし、充当しきれなかった金額は将来的な公共施設での木材利用を想定し基金へ積み立てる方針。
- ▶ 令和元年度においては「自治体間連携によるカーボン・オフセット事業」を充当対象事業とした。姉妹都市である埼玉県秩父市と森林整備協定を締結し、秩父市の森林を「としまの森」として整備した。また、整備地を活用して環境交流事業を実施した。
 - 除伐、遊歩道整備等0.5haの整備を実施した。整備地については、埼玉県のCO2吸収量認証制度を活用し、5.7t-CO2の二酸化炭素吸収量認証を受けた。
 - 「としまの森」を活用した環境交流ツアーを実施。34名の参加者のうち、75.8%が「環境意識が高まった」と回答。

□ 事業内容

1 森林整備事業

- 秩父市と森林整備に関する協定を締結。秩父市の森林の除伐、遊歩道整備等を実施した。また、整備地については埼玉県CO2吸収量認証制度を活用し、CO2吸収量認証を受けた。

【事業費】 3,850千円（うち譲与税2,001千円）

【実績】 除伐0.5ha、遊歩道整備200m
二酸化炭素吸収量5.7t-CO2

2 環境交流事業

- 「としまの森」において、秩父市の協力のもと、丸太切り体験をはじめとした林業体験を含む環境交流ツアーを実施した。

【事業費】 984千円

【実績】 参加者 34名

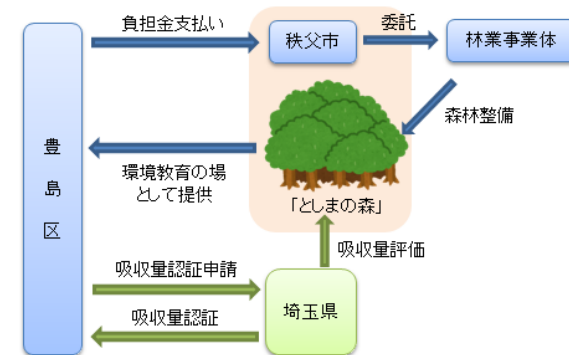


（事業1：除伐作業の様子）



（事業2：環境交流事業の様子）

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- 森林整備を実施することにより、本区はCO2排出量の削減と区民の環境教育の場ができ、秩父市は市有林の再生と林業の再興ができ、相互の環境面におけるメリットが生まれる。
- 5年間で1.89haの森林を整備する協定を締結

◇ 基礎データ

①令和元年度譲与額	11,241千円
②私有林人工林面積（※1）	0ha
③林野率（※2）	0.0%
④人口（※3）	291,167人
⑤林業就業者数（※4）	5人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※2：「2015農林業センサス」 ※3、4：「H27年国勢調査」